

中学校「特別の教科 道徳」に係る中学校、義務  
教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程

## 教科用図書調査研究の結果

(平成 31・32 年度用)

平成 30 年 6 月

神奈川県教育委員会

本資料は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律及び同法施行令に基づき、神奈川県内の採択権者が教科用図書を選定するための基礎的な資料として作成した。

本資料は、教科用図書調査研究の各観点に基づき、97の調査項目を定め、全発行者の教科用図書について調査した結果の概要を発行者ごとにまとめたものを「資料Ⅰ」とし、その詳細を「資料Ⅱ」として構成した。

## 目 次

- 1 中学校「特別の教科 道徳」に係る平成31年度使用中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の観点  
・・・観点-1～観点-2
  
- 2 調査資料「特別の教科 道徳」
  - 資料Ⅰ  
・・・道徳-1～道徳-8
  
  - 資料Ⅱ  
・・・道徳-9～道徳-21

### 《参考》発行者一覧

発行者の略称	発 行 者	発行者の略称	発 行 者
東 書	東京書籍株式会社	日 文	日本文教出版株式会社
学 図	学校図書株式会社	学 研	株式会社学研教育みらい
教 出	教育出版株式会社	廣あかつき	廣済堂あかつき株式会社
光 村	光村図書出版株式会社	日 科	日本教科書株式会社

※発行者の記載順は、文部科学省発行の中学校用教科書目録（平成31年度使用）の掲載順による。

# 1 中学校「特別の教科 道徳」に係る平成 31 年度使用中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の観点について

平成 31・32 年度に使用される中学校「特別の教科 道徳」の教科用図書が、学習指導要領に定められた各教科の目標や本県の生徒の学習等に鑑み、教材・配列などの取扱いが適切なものであるかという視点に基づき、以下に具体的な「観点」の項目を定める。

## (1) 教科・種目と共通する観点

### ア 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

- 教育基本法において、新たに規定された [教育の目標] (第 2 条) 及び [学校教育] (第 6 条第 2 項) の内容を踏まえているか。

#### [教育の目標]

第 2 条 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

- 一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 四 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

#### [学校教育]

### 第 6 条

2 前項の学校においては、教育の目標が達成されるよう、教育を受ける者の心身の発達に応じて、体系的な教育が組織的に行われなければならない。この場合において、教育を受けるものが、学校生活を営む上で必要な規律を重んずるとともに、自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視して行われなければならない。

- 学校教育法において、新たに規定された [中学校教育の目標] (第 46 条) の内容を踏まえているか。

#### [中学校教育の目標]

第 46 条 中学校における教育は、前条に規定する目的を実現するため、第 21 条各号に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

- ② 前項の場合においては、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。(※第 30 条第 2 項の準用)

- 学習指導要領の各教科の目標を踏まえているか。また、教育内容の主な改善事項

のうち、次の内容を踏まえているか。

- ・言語活動の充実
- ・伝統や文化に関する教育の充実
- ・体験活動の充実

#### イ かながわ教育ビジョンとの関連

- 教育目標（めざすべき人間力像）に掲げた、次の内容を踏まえているか。
  - ・[思いやる力] 他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。
  - ・[たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。
  - ・[社会とかかわる力] 社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。

#### ウ 内容

- 内容の程度は、生徒の発達段階に即して適切であるか。
- 既習内容を定着させるため、繰り返し学習させる内容は充実しているか。
- 社会的状況を反映した題材を取り上げ、生徒が興味を持って学習できるように配慮されているか。
- 他の教科等との関連が必要に応じて取り上げられているか。
- 一面的な見解だけを取り上げているところはないか。
- 生徒の理解や習熟の程度に応じた、発展的な学習の内容の取扱いは適切であるか。

#### エ 構成・分量・装丁

- 内容は全体として系統的、発展的に構成されているか。
- 各内容の分量とその配分は適切であるか。
- 体裁がよく、生徒が使いやすいように配慮されているか。

#### オ 表記・表現

- 文章表現や漢字・かなづかい・用語・記号・計量単位・図版などの使用は適切であるか。
- 文字の大きさ・字間・行間・書体などは適切であるか。
- 文章・図版などの割付けは適切であるか。

#### (2) 「特別の教科 道徳」に係る観点

- 道徳的な課題を生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」につながる内容構成になっているか。
- 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える工夫がされているか。
- 問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等は適切に取り上げられているか。

【資料Ⅰ】

教科種目名≪特別の教科 道徳≫

発行者の略称	東書	書名	新しい道徳1、新しい道徳2、新しい道徳3
<p>教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連</p>			<p>□教育基本法第2条の「豊かな情操と道徳心を培うこと」に関連して、巻頭に『道徳の時間はこんな時間に』というページが設けられ、授業例が示され、「自分の心を見つめ、考えを広げたり深めたりする」等の、道徳を学ぶ意義等が示されている。</p> <p>□教育基本法第6条第2項の「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、巻頭に『話し合いの手引き』『道徳の時間はこんな時間に』、巻末に『自分の学びを振り返ろう』といったコーナーが設けられ、学習の見通しと振り返りを行うことで、学習の意欲を高められるような工夫がされている。</p> <p>□学校教育法第46条の「課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ」に関連して、教材ごとに、『考えてみよう!』というコーナーが設けられ、考えるための中心となる問いや自己を見つめるための問い等が例として設定されている。</p> <p>□学習指導要領の主な改善事項である「体験活動の充実」に関連して、たばこを吸っている生徒を見かけて声をかける場面の役を交代して演じる等、体験的な学習を通して考えを深める工夫がされている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-9～道徳-12）に記載。</p>
<p>かながわ教育 ビジョンとの 関連</p>			<p>□「思いやる力」に関連して、本当の思いやりとはどのようなことなのかを考えたり、末期がん患者の生き方を通して「生」と「死」について考えたりする等の教材が取り上げられている。</p> <p>□「社会とかかわる力」に関連して、雪かきを例とし、だれからも称賛をされないが大切な仕事がある社会にあるということや、老人ホームでの体験からボランティア活動に参加をしたいと考える生徒の姿から、社会参画や社会貢献の意義等について考える教材等が取り上げられている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-13）に記載。</p>
<p>内容 （「特別の教科 道徳」に係る観点 を含む）</p>			<p>□「考え、議論する道徳」に関連して、巻頭に『道徳の時間はこんな時間に』のページが設けられ、教材を通して考えが深められるよう学習の流れが示されるとともに、「話し合いの手引き」で話し合いの方法について説明されている。</p> <p>□「多面的・多角的に考える工夫」として、教材ごとに『考えてみよう!』というコーナーが設けられ、生徒の多様な感じ方や考え方を引き出すよう工夫された発問例が設定されている。</p> <p>□「問題解決的な学習」については、世界の子どもの写真から、国際社会の問題解決について考える教材等が設けられており、「体験的な学習」については、『もし、あのときにもどれるならば』等で、登場人物等の立場になって考えたり、演技したりする活動例が設けられている。</p> <p>□神奈川に関連することとして、『郷土のことを考える』に相模人形芝居が取り上げられている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-14～道徳-19）に記載。</p>
<p>構成 分量 装丁</p>			<p>□判型はA B版で、巻末に『自分の学びを振り返ろう』のページがあり、自分の学びを振り返る欄や、今後どのように取り組むかを記入する欄が設けられている。</p> <p>□「この教科書は、以下のような工夫や配慮を行っています。全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしています。再生紙・植物油インキを使用しています。見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」と表記されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-19～道徳-20）に記載。</p>
<p>表記・表現</p>			<p>□巻頭に目次が付けられている。また、各教材の最初に、『情報モラルと友情』『いのちを考える』等、学習のテーマとなる言葉が示されている。</p> <p>□各教材の最初に、その教材が「自分自身に関すること」「他の人とのかかわり」「集団や社会とのかかわり」「生命や自然、崇高なものとのかかわり」のどれにあたるかを示したマークが付けられている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-21）に記載。</p>

【資料Ⅰ】

教科種目名<<特別の教科 道徳>>

発行者の略称	学図	書名	輝け 未来 中学校道徳 1年、輝け 未来 中学校道徳 2年 輝け 未来 中学校道徳 3年
<p>教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連</p>			<p>□教育基本法第2条の「豊かな情操と道徳心を培うこと」に関連して、巻頭に『道徳の学習を始めよう!』というページが設けられ、「教材を通して、自分を見つめ、自分と深く向き合ってみよう」等の、道徳を学ぶ意義等が示されている。</p> <p>□教育基本法第6条第2項の「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、巻頭に『道徳の学習を始めよう』、巻末には『一年間の振り返り』といったコーナーが設けられ、学習の見通しと振り返りを行うことで、学習の意欲を高められるような工夫がされている。</p> <p>□学校教育法第46条の「課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ」に関連して、教材ごとに、『学びに向かうために』というコーナーが設けられ、自らの考えを言葉で表現することができる発問例、記述欄等が設定されている。</p> <p>□学習指導要領の主な改善事項である「体験活動の充実」に関連して、部活動に不満を言う生徒とその生徒に意見を言う生徒の役を交代して演じる等、体験的な学習を通して考えを深める工夫がされている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-9～道徳-12）に記載。</p>
<p>かながわ教育 ビジョンとの 関連</p>			<p>□「思いやる力」に関連して、高校生の行動から親切について考えたり、臓器提供を通して生命の在り方について考えたりする等の教材が取り上げられている。</p> <p>□「社会とかかわる力」に関連して、息子の遺志を継いだ父によるボランティアの精神を世界に広める活動や、アルミ缶回収活動に疑問を感じていた主人公の変容から、社会参画や社会貢献の意義等について考える教材等が取り上げられている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-13）に記載。</p>
<p>内 容 （「特別の教科 道徳」に係る観点 を含む）</p>			<p>□「考え、議論する道徳」に関連して、巻頭に『道徳の学習を始めよう!』のページが設けられ、教材を通して考えが深められるよう学習の流れを示すとともに、話し合い等による授業の進め方の参考例が掲載されている。</p> <p>□「多面的・多角的に考える工夫」として、教材ごとに『学びに向かうために』というコーナーが設けられ、生徒の多様な感じ方や考え方を引き出すよう工夫された発問例が設定されている。</p> <p>□「問題解決的な学習」については、国際貢献に取り組んだ日本人の姿から、世界が抱えている課題をどう解決できるかを考える教材等が設けられており、「体験的な学習」については、『茂の悩み』等で、登場人物等の立場になって考えたり、演技したりする活動例が設けられている。</p> <p>□神奈川に関連することとして、『ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ジャパン』の中に横浜港や江ノ島が取り上げられている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-14～道徳-19）に記載。</p>
<p>構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁</p>			<p>□判型はA B版で、巻末に『一年間の振り返り』のページがあり、どのようなことを深く考えたかや、これからの自分について記入する欄が設けられている。</p> <p>□「この教科書は、環境に配慮した紙と植物油インキを使用しています。この教科書は、多くの人を使いやすいように、ユニバーサルデザインの観点に立ち、色使いやフォント、レイアウトなどに配慮して作成しました。」と表記されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-19～道徳-20）に記載。</p>
<p>表記・表現</p>			<p>□巻頭に目次、巻末に内容項目別の一覧表が掲載されている。また、各教材の最初に、内容項目と『差別や偏見のない社会』『結果を考え判断する』等、学習のテーマとなる言葉が示されている。</p> <p>□各教材の最初に、その教材が「自分自身のこと」「人との関わり」「集団や社会との関わり」「生命や自然、崇高なものとの関わり」のどれにあたるかを示したマークが付けられている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-21）に記載。</p>

【資料Ⅰ】

教科種目名《特別の教科 道徳》

発行者の略称	教出	書名	中学校道徳1 とびだそう未来へ、中学校道徳2 とびだそう未来へ、中学校道徳3 とびだそう未来へ
<p>教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連</p>			<p>□教育基本法第2条の「豊かな情操と道徳心を培うこと」に関連して、巻頭に『道徳って、どんなふうに学習したらいいの？（1年）』というページが設けられ、「いろいろな視点で」「考えたことをいかして」等の、道徳を学ぶ意義等が示されている。</p> <p>□教育基本法第6条第2項の「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、巻頭に『中学生／二年生／三年生の道徳が始まる』や、巻末に『道徳の学びを記録しよう』『どんな二年生／三年生になりたいか』『そして未来へ…』といったコーナーが設けられ、学習の見通しと振り返りを行うことで、学習の意欲を高められるような工夫がされている。</p> <p>□学校教育法第46条の「課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ」に関連して、教材ごとに、『学びの道しるべ』というコーナーが設けられ、自らの考えを広げ、深めるための発問例が設定されている。</p> <p>□学習指導要領の主な改善事項である「体験活動の充実」に関連して、バスターミナルで困っている人に声をかける場面の役を交代して演じる等、体験的な学習を通して考えを深める工夫がされている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-9～道徳-12）に記載。</p>
<p>かながわ教育 ビジョンとの 関連</p>			<p>□「思いやる力」に関連して、思いやりを表現できた場面、できなかった場面をもとに、気持ちを形にすることを考えたり、報道写真を題材に生命の尊さを考えたりする等の教材が取り上げられている。</p> <p>□「社会とかかわる力」に関連して、生徒会役員選挙を通して代表を選ぶとはどういうことなのか考える生徒の姿や、自ら望んで消防団に所属し活動している大人たちの姿から、社会参画や社会貢献の意義等について考える教材等が取り上げられている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-13）に記載。</p>
<p>内 容 （「特別の教科 道徳」に係る観点 を含む）</p>			<p>□「考え、議論する道徳」に関連して、巻頭に『道徳って、どんなふうに学習したらいいの？（1年）』のページが設けられ、教材を通して考えが深められるよう学習の流れが示されている。また、教材ごとに『学びの道しるべ』というコーナーが設けられ、「何をどのように考え、話し合っていくか」が示されている。</p> <p>□「多面的・多角的に考える工夫」として、教材ごとに『学びの道しるべ』というコーナーが設けられ、生徒の多様な感じ方や考え方を引き出すよう工夫された発問例が設定されている。</p> <p>□「問題解決的な学習」については、立場の違う両者の新聞への投稿から、法やきまりは何のためにあるのかを考える教材等が設けられており、「体験的な学習」については、『やってみよう』等で、登場人物等の立場になって考えたり、演技したりする活動例が設けられている。</p> <p>□神奈川に関連することとして、『都道府県にゆかりのある人物と、その言葉』に、二宮尊徳が取り上げられている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-14～道徳-19）に記載。</p>
<p>構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁</p>			<p>□判型はB5版で、巻末に『道徳の学びを記録しよう』『どんな二年生／三年生になりたいか』『そして未来へ…』のページがあり、自分の学びをふり返り、未来につなげていくための記入欄が設けられている。</p> <p>□「この教科書は、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用しています。また、生徒が使用する教科書の印刷においては、バイオマスで発電されたグリーン電力を使用します。この教科書は、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインを配慮して作られています。」と表記されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-19～道徳-20）に記載。</p>
<p>表記・表現</p>			<p>□巻頭に目次、巻末に内容項目別の一覧表が掲載されている。また、各教材の最初には、『どんな場合でも、きまりは優先せれるべきなのだろうか』等の、教材を通してどのようなことを考えていくのか、意識付けをする問いが示されている。</p> <p>□各教材の最初に、その教材が「自分自身に関すること」「人との関わりに関すること」「集団や社会との関わりに関すること」「生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」のどれにあたるかを各色で示されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-21）に記載。</p>

【資料Ⅰ】

教科種目名≪特別の教科 道徳≫

発行者の略称	光村	書名	中学校道徳1 きみがいちばんひかるとき、中学校道徳2 きみがいちばんひかるとき、中学校道徳3 きみがいちばんひかるとき
<p>教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連</p>			<p>□教育基本法第2条の「豊かな情操と道徳心を培うこと」に関連して、巻頭に『道徳の時間に学ぶこと（3年）』というページが設けられ、「人間としての生き方を考える」等の、道徳を学ぶ意義等が示されている。</p> <p>□教育基本法第6条第2項の「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、巻頭に『対話で広がる道徳の時間（1・2年）』『道徳の時間に学ぶこと（3年）』、『本書で学ぶ皆さんへ』、巻末に『どうして道徳を学んだらう？』『学びの記録』といったコーナーが設けられ、学習の見通しと振り返りを行うことで、学習の意欲を高められるような工夫がされている。</p> <p>□学校教育法第46条の「課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ」に関連して、教材ごとに、『学びのテーマ』というコーナーが設けられ、自らの考えを言葉で表現することができる発問例、記述欄が設定されている。</p> <p>□学習指導要領の主な改善事項である「体験活動の充実」に関連して、体育祭が近づき早朝練習に遅れてきた友達にどう対応するか等、体験的な学習を通して考えを深める工夫がされている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-9～道徳-12）に記載。</p>
<p>かながわ教育 ビジョンとの 関連</p>			<p>□「思いやる力」に関連して、相手のことを考えて行動するとはどのようなことかを考えたり、大切な人との別れを通して生命の有限性を考えたりする等の教材が取り上げられている。</p> <p>□「社会とかかわる力」に関連して、紙芝居ボランティアを通して社会に積極的に関わろうとする中学生の姿や、避難所での電話番をすることによって社会の一員として関わろうとする姿から、社会参画や社会貢献の意義等について考える教材等が取り上げられている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-13）に記載。</p>
<p>内 容 （「特別の教科 道徳」に係る観点 を含む）</p>			<p>□「考え、議論する道徳」に関連して、巻頭に『本書で学ぶ皆さんへ』のページが設けられ、教材を通して考えが深められるよう学習の流れが示されている。また、巻頭の『対話で広がる、道徳の時間（1・2年）』のコーナーでは、「他者との対話」「自分との対話」の例が示されている。</p> <p>□「多面的・多角的に考える工夫」として、教材ごとに『学びのテーマ』というコーナーが設けられ、生徒の多様な感じ方や考え方を引き出すよう工夫された発問例が設定されている。</p> <p>□「問題解決的な学習」については、村長として島を開発すべきかどうか悩む姿から、郷土や自然について考える教材等が設けられており、「体験的な学習」については、『友達とよい関係を築くには』等で、登場人物等の立場になって考えたり、演技したりする活動例が設けられている。</p> <p>□神奈川に関連することとして、『父の言葉』に湯河原温泉が取り上げられている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-14～道徳-19）に記載。</p>
<p>構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁</p>			<p>□判型はB5版で、巻末に『学びの記録』のページがあり、自分の学びをふり返り記入する欄が設けられている。</p> <p>□「この教科書は、次のような配慮や工夫をしています。環境に配慮した紙、植物油インキを使用しています。ユニバーサルデザインの観点から、誰もがわかりやすい構成や内容、色遣い、デザインになるように配慮しています。生徒の読みやすさに配慮したフォントを使用しています。」と表記されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-19～道徳-20）に記載。</p>
<p>表記・表現</p>			<p>□巻頭に目次、巻末に内容項目別の一覧表が掲載されている。</p> <p>□各教材の最初に、その教材が「自分自身に関すること」「人との関わりに関すること」「集団や社会との関わりに関すること」「生命や自然などとの関わりに関すること」のどれにあたるかを示したマークが付けられている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-21）に記載。</p>



【資料Ⅰ】

教科種目名≪特別の教科 道徳≫

発行者の略称	日文	書名	中学校道徳 あすを生きる 1、中学校道徳 あすを生きる 2 中学校道徳 あすを生きる 3
<p>教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連</p>			<p>□教育基本法第2条の「豊かな情操と道徳心を培うこと」に関連して、巻頭に『道徳科で学ぶこと』『道徳科での学び方』というページが設けられ、「よりよく生きるために大切なこと」等の、道徳を学ぶ意義等が示されている。</p> <p>□教育基本法第6条第2項の「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、巻頭に『道徳科で学ぶこと』『道徳科での学び方』、別冊『道徳ノート』に『自分への振り返り』といったコーナーが設けられ、学習の見通しと振り返りを行うことで、学習の意欲を高められるような工夫がされている。</p> <p>□学校教育法第46条の「課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ」に関連して、教材ごとに、『考えてみよう』『自分にプラスワン』というコーナーが設けられ、自らの考えを言葉で表現することができる発問例、別冊『道徳ノート』に記述欄が設定されている。</p> <p>□学習指導要領の主な改善事項である「体験活動の充実」に関連して、あいさつの有無でずいぶん気分が変わるのはどうしてか等、体験的な学習を通して考えを深める工夫がされている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-9～道徳-12）に記載。</p>
<p>かながわ教育 ビジョンとの 関連</p>			<p>□「思いやる力」に関連して、人の思いやり気付くには何が大切かを考えたり、心の中で感じる生命の連続性について考えたりする等の教材が取り上げられている。</p> <p>□「社会とかかわる力」に関連して、「日本の障害者福祉の父」と呼ばれた医師の活動や、富士山の清掃活動に取り組む登山家の姿から、社会参画や社会貢献の意義等について考える教材等が取り上げられている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-13）に記載。</p>
<p>内 容 （「特別の教科 道徳」に係る観点 を含む）</p>			<p>□「考え、議論する道徳」に関連して、巻頭に『道徳科での学び方』のページが設けられ、教材を通して考えが深められるよう学習の流れを示すとともに、発表したり、意見を交流したりする例が示されている。</p> <p>□「多面的・多角的に考える工夫」として、教材ごとに『考えてみよう』『自分にプラスワン』というコーナーが設けられ、生徒の多様な感じ方や考え方を引き出すよう工夫された発問例が設定されている。</p> <p>□「問題解決的な学習」については、町の活性化のために公園を整備するか、住民のために環境を守るべきか、選挙での候補者の主張から、よりよい社会の実現について考える教材等が設けられており、「体験的な学習」については、『近くにいた友』等で、登場人物等の立場になって考えたり、演技したりする活動例が設けられている。</p> <p>□神奈川に関連することとして、『持続可能な社会-今と昔-』に二宮尊徳が取り上げられている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-14～道徳-19）に記載。</p>
<p>構 成 分 量 装 丁</p>			<p>□判型はB5版で、B5版の別冊ノートが全ての学年に付けられている。別冊『道徳ノート』には自分が考えたこと等を記入する欄が設けられている。</p> <p>□「この教科書はカラーユニバーサルデザインに配慮しています。また、植物油インキと再生紙を利用しています。」と表記されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-19～道徳-20）に記載。</p>
<p>表記・表現</p>			<p>□巻頭に目次、巻末に内容項目別の一覧表が掲載されている。また、各教材の最初には、『困難を乗り越える力』『より高い目標を目指して』等、学習のテーマとなる言葉が示されている。</p> <p>□各教材の最初に、その教材が「自分自身について」「人との関わりについて」「集団や社会との関わりについて」「生命や自然、崇高なものとの関わりについて」のどれにあたるかを示したマークが付けられている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-21）に記載。</p>

【資料Ⅰ】

教科種目名《特別の教科 道徳》

発行者の略称	学研	書名	中学生の道徳 明日への扉 1年、中学生の道徳 明日への扉 2年、中学生の道徳 明日への扉 3年
教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>□教育基本法第2条の「豊かな情操と道徳心を培うこと」に関連して、巻頭に『道徳で学ぶこと・考えること』というページが設けられ、「よりよい生き方について考えを深め、自分なりに納得できる考えや答えを見付ける」等の、道徳を学ぶ意義等が示されている。</p> <p>□教育基本法第6条第2項の「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、巻頭に『新しい扉を開く（1年）』『明日への扉を開く（2年）』『未来への扉を開く（3年）』、巻末に『心の四季』『未来への扉（3年）』といったコーナーが設けられ、学習の見通しと振り返りを行うことで、学習の意欲を高められるような工夫がされている。</p> <p>□学校教育法第46条の「課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ」に関連して、教材ごとに、問いが設けられ、自らの考えを深め、自己を見つめる等の発問例が設定されている。</p> <p>□学習指導要領の主な改善事項である「体験活動の充実」に関連して、通路でキャッチボールをしている子どもを注意する場面の役を交代して演じる等、体験的な学習を通して考えを深める工夫がされている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-9～道徳-12）に記載。</p>		
かながわ教育ビジョンとの関連	<p>□「思いやる力」に関連して、「ありがとう。」の言葉に込められた思いを考えたり、虐待され捨てられた子犬を育てながら生命の尊さについて考えたりする等の教材が取り上げられている。</p> <p>□「社会とかかわる力」に関連して、生徒の話合いや有権者の意見を通して選挙について話し合う中学生の姿や、家族の代表として町内会の活動に参加する姿から、社会参画や社会貢献の意義等について考える教材等が取り上げられている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-13）に記載。</p>		
内容（「特別の教科道徳」に係る観点を含む）	<p>□「考え、議論する道徳」に関連して、巻頭に『道徳で学ぶこと・考えること』のページが設けられ、教材を通して考えが深められるよう学習の流れを示すとともに、「話し合い、磨き合う」ことの例が掲載されている。</p> <p>□「多面的・多角的に考える工夫」として、教材ごとに問いが設けられ、生徒の多様な感じ方や考え方を引き出すよう工夫された発問例が設定されている。</p> <p>□「問題解決的な学習」については、柔道選手のガッツポーズに対する新聞への投稿から、礼儀について考える教材等が設けられ、「体験的な学習」については、『二つの心の対話を演じてみよう』等で、登場人物等の立場になって考えたり、演技したりする活動例が設けられている。</p> <p>□神奈川に関連することとして、『ヨコスカネイビーパーカー』に横須賀市の高校生たちの取組が取り上げられている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-14～道徳-19）に記載。</p>		
構成分量・装丁	<p>□判型はA4版で、巻末に『心の四季』のページがあり、1年経過し心の成長に気付いたことを記入する欄が設けられている。</p> <p>□「この教科書は、環境に配慮した紙、インキ、印刷方式を使用し、ユニバーサルデザインに配慮して製作しています。」と表記されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-19～道徳-20）に記載。</p>		
表記・表現	<p>□巻頭に目次、巻末に内容項目別の一覧表が掲載されている。</p> <p>□各教材の最初に、その教材が「主として自分自身に関すること」「主として人との関わりに関すること」「主として集団や社会との関わりに関すること」「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」のどれにあたるかを、各色で示されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳-21）に記載。</p>		

【資料Ⅰ】

教科種目名≪特別の教科 道徳≫

発行者の略称	廣あかつき	書 名	中学生の道徳 自分を見つめる 1、中学生の道徳 自分を考える 2、中学生の道徳 自分をのぼす 3
<p>教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連</p>	<p>□教育基本法第2条の「豊かな情操と道徳心を培うこと」に関連して、巻頭に『自分を見つめよう（1年）／考えよう（2年）／のぼそう（3年）－道徳の時間とは－』等のページが設けられ、「一人の人間として、自分自身の在り方や生き方を深く考えることが大切です」等の、道徳を学ぶ意義等が示されている。</p> <p>□教育基本法第6条第2項の「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、巻頭に『自分を見つめよう／考えよう／のぼそう－道徳の時間とは－』、別冊『道徳ノート』に『心のしおり』といったコーナーが設けられ、学習の見通しと振り返りを行うことで、学習の意欲を高められるような工夫がされている。</p> <p>□学校教育法第46条の「課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ」に関連して、教材ごとに、『考える・話し合う』というコーナーが設けられ、自らの考えを言葉で表現することができる発問例、別冊『道徳ノート』に記述欄が設定されている。</p> <p>□学習指導要領の主な改善事項である「体験活動の充実」に関連して、探偵役になって話し合ってみるという場面の役を交代して演じる等、体験的な学習を通して考えを深める工夫がされている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳－9～道徳－12）に記載。</p>		
<p>かながわ教育 ビジョンとの 関連</p>	<p>□「思いやる力」に関連して、地下鉄で席を譲った少女の心について考えたり、延命措置や在宅死についての様々な考え方を通して生命の尊厳について考えたりする等の教材が取り上げられている。</p> <p>□「社会とかかわる力」に関連して、ボランティアとして一人暮らしのお年寄りを訪問する活動を始めた主人公の姿や、裁判員制度について主人公が感じた戸惑いや気づきから、社会参画や社会貢献の意義等について考える教材等が取り上げられている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳－13）に記載。</p>		
<p>内 容 （「特別の教科 道徳」に係る観点 を含む）</p>	<p>□「考え、議論する道徳」に関連して、巻頭に『自分を見つめよう／考えよう／のぼそう－道徳の時間とは－』のページが設けられ、教材を通して考えが深められるよう学習の流れを示すとともに、「ともに考え、話し合う」ことについて説明している。</p> <p>□「多面的・多角的に考える工夫」として、教材ごとに『考える・話し合う』というコーナーが設けられ、生徒の多様な感じ方や考え方を引き出すよう工夫された発問例が設定されている。</p> <p>□「問題解決的な学習」については、学校へ行く際に集合時間に来ない友達に対してどうするかということから、本当の友達について考える教材等が設けられており、「体験的な学習」については、『よみがえった良心』等で、登場人物等の立場になって考えたり、演技したりする活動例が設けられている。</p> <p>□神奈川に関連することとして、『優しいうそ』に神奈川にある大学病院が取り上げられている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳－14～道徳－19）に記載。</p>		
<p>構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁</p>	<p>□判型はA B版で、A B版の別冊ノートが全ての学年に付けられている。別冊『道徳ノート』の巻末には、折り込みとして自分自身を振り返る「心のしおり」のページが設けられている。</p> <p>□「この教科書は、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいよう、カラーユニバーサルデザインに配慮して作られています。この教科書は、再生紙と植物油インキを使用しています。」と表記されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳－19～道徳－20）に記載。</p>		
<p>表記・表現</p>	<p>□巻頭に目次、巻末に内容項目別の一覧表が掲載されている。</p> <p>□各教材の最初に、その教材が「主として自分自身に関すること」「主として人との関わりに関すること」「主として集団や社会との関わりに関すること」「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」のどれにあたるかを、各色で示されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ（道徳－21）に記載。</p>		

【資料Ⅰ】

教科種目名≪特別の教科 道徳≫

発行者の略称	日科	書名	道徳 中学校1 生き方から学ぶ、道徳 中学校2 生き方を見つける、道徳 中学校3 生き方を創造する
<p>教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連</p>	<p>□教育基本法第2条の「豊かな情操と道徳心を培うこと」に関連して、巻頭に『道徳科って何を学ぶの?』等のページが設けられ、「自分の考えを広げ、深め、発展させる」等の、道徳を学ぶ意義等が示されている。</p> <p>□教育基本法第6条第2項の「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、巻頭に『道徳科って、何を学ぶの?』『教科書の使い方』、巻末に『心の成長を振り返りましょう』『私の道徳記録(3年)』といったコーナーが設けられ、学習の見通しと振り返りを行うことで、学習の意欲を高められるような工夫がされている。</p> <p>□学校教育法第46条の「課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ」に関連して、教材ごとに、『考え、話し合ってみようそして、深めよう』というコーナーが設けられ、自らの考えを深めるため等の発問例が設定されている。</p> <p>□学習指導要領の主な改善事項である「体験活動の充実」に関連して、SNSが原因で起こった誤解を解消する場面でもう対応するか等、体験的な学習を通して考えを深める工夫がされている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ(道徳-9~道徳-12)に記載。</p>		
<p>かながわ教育 ビジョンとの 関連</p>	<p>□「思いやる力」に関連して、体の不自由な人への手助けについて考えたり、ケガをした子を協力して助けることを通してかけがえのない生命について考えたりする等の教材が取り上げられている。</p> <p>□「社会とかかわる力」に関連して、ホームレスに声をかける夜回りのボランティア活動や、プラットホームでの見ず知らずの乗客同士が協力し人を救助した出来事から、社会参画や社会貢献の意義等について考える教材等が取り上げられている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ(道徳-13)に記載。</p>		
<p>内 容 (「特別の教科 道徳」に係る観点 を含む)</p>	<p>□「考え、議論する道徳」に関連して、巻頭に『道徳科って何を学ぶの?』のページが設けられ、教材を通して考えが深められるよう学習の流れを示すとともに、話し合い等により多様な考えを知るための例が掲載されている。</p> <p>□「多面的・多角的に考える工夫」として、教材ごとに『考え、話し合ってみようそして、深めよう』というコーナーが設けられ、生徒の多様な感じ方や考え方を引き出すよう工夫された発問例が設定されている。</p> <p>□「問題解決的な学習」については、席を譲る際に迷惑だと断られたという新聞の投稿等から、自分はどうか考えるかと問う教材等が設けられており、「体験的な学習」については、『一通のメッセージから始まる物語』等で、登場人物等の立場になって考えたり、演技したりする活動例が設けられている。</p> <p>□神奈川に関連することとして、『届けたい言葉』に神奈川県出身の宇宙飛行士野口聡一氏の文章が掲載されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ(道徳-14~道徳-19)に記載。</p>		
<p>構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁</p>	<p>□判型はB5版で、巻末に1年間のまとめのページがあり、心の成長や道徳の時間を振り返り、記入する欄が設けられている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ(道徳-19~道徳-20)に記載。</p>		
<p>表記・表現</p>	<p>□巻頭に目次、巻末に内容項目別の一覧表が掲載されている。</p> <p>□各教材の最初に、その教材が「自分自身と向き合う」「人とかかわり」「集団や社会とかかわり」「自然や崇高なものとかかわり」のどれにあたるかを、各色で示されているとともに、学習指導要領の内容項目の番号と対応した数字が示されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料Ⅱ(道徳-21)に記載。</p>		

【資料Ⅱ】

教科種目名《特別の教科 道徳》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

○教育基本法第2条及び第6条第2項との関連

第2条 一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

東書	巻頭に『道徳の時間はこんな時間に』というページが設けられ、授業例が示され、「自分の心を見つめ、考えを広げたり深めたりする」等の、道徳を学ぶ意義等が示されている。
学図	巻頭に『道徳の学習を始めよう!』というページが設けられ、「教材を通して、自分を見つめ、自分と深く向き合ってみよう」等の、道徳を学ぶ意義等が示されている。
教出	巻頭に『道徳って、どんなふうに学習したらいいの? (1年)』というページが設けられ、「いろいろな視点で」「考えたことをいかして」等の、道徳を学ぶ意義等が示されている。
光村	巻頭に『道徳の時間に学ぶこと (3年)』というページが設けられ、「人間としての生き方を考える」等の、道徳を学ぶ意義等が示されている。
日文	巻頭に『道徳科で学ぶこと』『道徳科での学び方』というページが設けられ、「よりよく生きるために大切なこと」等の、道徳を学ぶ意義等が示されている。
学研	巻頭に『道徳で学ぶこと・考えること』というページが設けられ、「よりよい生き方について考えを深め、自分なりに納得できる考えや答えを見付ける」等の、道徳を学ぶ意義等が示されている。
廣あかつき	巻頭に『自分を見つめよう (1年) / 考えよう (2年) / のぼそう (3年) -道徳の時間とは-』等のページが設けられ、「一人の人間として、自分自身の在り方や生き方を深く考えることが大切です」等の、道徳を学ぶ意義等が示されている。
日科	巻頭に『道徳科って何を学ぶの?』等のページが設けられ、「自分の考えを広げ、深め、発展させる」等の、道徳を学ぶ意義等が示されている。

二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

東書	葛藤を乗り越え、新幹線掃除の仕事に携わる人の話を通して、勤労の意義等について考える教材等が掲載されている。
学図	レジ打ちをする主人公が自己の能力や適性に気付いて変容する話を通して、勤労の意義等について考える教材等が掲載されている。
教出	清掃員の主人公が仕事に誇りを持ち、技術を磨き心をこめて仕事に取り組み続けている話を通して、勤労の意義等について考える教材等が掲載されている。
光村	震災時に段ボールベッドを考案した人へのインタビューを通して、勤労の意義等について考える教材等が掲載されている。
日文	主人公が職場体験で感じたことや、その帰りに目にした出来事を通して、勤労の意義等について考える教材等が掲載されている。
学研	体が不自由な人の社会復帰を支える義肢装具士の話を通して、勤労の意義等について考える教材等が掲載されている。
廣あかつき	新聞配達をする年老いた母親の働く姿やその様子についての話を通して、勤労の意義等について考える教材等が掲載されている。
日科	惣菜屋を閉める日に多くの方が店に駆け付けたという話を通して、勤労の意義等について考える教材等が掲載されている。

三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

東書	「図書館の本」を題材に、公共の精神や主体的な社会参画等について考える教材が取り上げられている。
学図	「アルミ缶回収」を題材に、公共の精神や主体的な社会参画等について考える教材が取り上げられている。
教出	「障がいのある子どもたちの教育に取り組んだ人物」を題材に、公共の精神や主体的な社会参画等について考える教材が取り上げられている。
光村	「バングラデシュとの文化や慣習のちがいを」を題材に、公共の精神や主体的な社会参画等について考える教材が取り上げられている。
日文	「京都の町の門掃き」を題材に、公共の精神や主体的な社会参画等について考える教材が取り上げられている。
学研	「町内会への参加」を題材に、公共の精神や主体的な社会参画等について考える内容が取り上げられている。
廣あかつき	「迷惑」という言葉を問い直す題材で、公共の精神や主体的な社会参画等について考える教材が取り上げられている。
日科	「ゴミ拾いをする犬とその飼い主の姿」を題材に、公共の精神や社会参画等について考える教材が取り上げられている。

四 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

東書	『書かれなかった遺書』や『よみがえれ、日本海!』等、生命の尊さや自然の大切さ、環境保全について考える教材が取り上げられている。
学図	『命ということ』や『森に起きていること』等、生命の尊さや自然の大切さ、環境保全について考える教材が取り上げられている。
教出	『たったひとつのたからもの』や『サルも人も愛した写真家』等、生命の尊さや自然の大切さ、環境保全について考える教材が取り上げられている。
光村	『命が生まれるそのときに』や『村長の決断』等、生命の尊さや自然の大切さ、環境保全について考える教材が取り上げられている。
日文	『あなたはすごい力で生まれてきた』や『よみがえれ、えりもの森』等、生命の尊さや自然の大切さ、環境保全について考える教材が取り上げられている。
学研	『そこにいるだけでいい』や『地球の未来のために』等、生命の尊さや自然の大切さ、環境保全について考える教材が取り上げられている。
廣あかつき	『天使の舞い降りた朝』や『襟裳のこと』等、生命の尊さや自然の大切さ、環境保全について考える教材が取り上げられている。
日科	『キミばあちゃんの椿』や『ニッポニア・ニッポン』等、生命の尊さや自然の大切さ、環境保全について考える教材が取り上げられている。

五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

東書	祭りを通して郷土の伝統と文化の尊重等について考えたり、複数の写真に写る海外の人の姿から国際理解や国際貢献について考えたりする教材等が取り上げられている。
学図	飛騨の匠を通して郷土の伝統と文化の尊重等について考えたり、杉原千畝さんの行動から国際理解や国際貢献について考えたりする教材等が取り上げられている。
教出	郷土料理を通して郷土の伝統と文化の尊重等について考えたり、他国の人々が助け合うことから国際理解や国際貢献について考えたりする教材等が取り上げられている。
光村	漆器「輪島塗」を通して郷土の伝統と文化の尊重等について考えたり、ルワンダで義肢を無償で提供しようというプロジェクトを立ち上げた日本人の姿から国際理解や国際貢献について考えたりする教材等が取り上げられている。
日文	震災を乗り越えて復活した「法の協鹿踊り」を通して郷土の伝統と文化の尊重等について考えたり、「中学生海外体験ホノルル訪問事業」から国際理解や国際貢献について考えたりする教材等が取り上げられている。
学研	女性初のねぶた師の姿を通して郷土の伝統と文化の尊重等について考えたり、カンボジアで地雷除去に取り組む男性の姿から国際理解や国際貢献について考えたりする教材等が取り上げられている。
廣あかつき	伝統行事である相馬野馬追を通して郷土の伝統と文化の尊重等について考えたり、マザー・テレサの生き方から国際理解や国際貢献について考えたりする教材等が取り上げられている。
日科	地元の先人、陸奥宗光を知ることを通して郷土の伝統と文化の尊重等について考えたり、留学体験記から国際理解や国際貢献について考えたりする教材等が取り上げられている。

第6条 2 前項の学校においては、教育の目標が達成されるよう、教育を受ける者の心身の発達に応じて、体系的な教育が組織的に行われなければならない。この場合において、教育を受ける者が、学校生活を営む上で必要な規律を重んずるとともに、自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視して行われなければならない。

東書	巻頭に『話し合いの手引き』『道徳の時間はこんな時間に』、巻末に『自分の学びを振り返ろう』といったコーナーが設けられ、学習の見通しと振り返りを行うことで、学習の意欲が高められるような工夫がされている。
学図	巻頭に『道徳の学習を始めよう』、巻末には『1年間の振り返り』といったコーナーが設けられ、学習の見通しと振り返りを行うことで、学習の意欲が高められるような工夫がされている。
教出	巻頭に『中学生/二年生/三年生の道徳が始まる』や、巻末に『道徳の学びを記録しよう』『どんな二年生/三年生になりたいか』『そして未来へ…』といったコーナーが設けられ、学習の見通しと振り返りを行うことで、学習の意欲が高められるような工夫がされている。
光村	巻頭に『対話で広がる道徳の時間(1・2年)』『道徳の時間に学ぶこと(3年)』、『本書で学ぶ皆さんへ』、巻末に『どうして道徳を学んだらう?』『学びの記録』といったコーナーが設けられ、学習の見通しと振り返りを行うことで、学習の意欲が高められるような工夫がされている。
日文	巻頭に『道徳科で学ぶこと』『道徳科での学び方』、別冊『道徳ノート』に『自分への振り返り』といったコーナーが設けられ、学習の見通しと振り返りを行うことで、学習の意欲が高められるような工夫がされている。
学研	巻頭に『新しい扉を開く(1年)』『明日への扉を開く(2年)』『未来への扉を開く(3年)』、巻末に『心の四季』『未来への扉(3年)』といったコーナーが設けられ、学習の見通しと振り返りを行うことで、学習の意欲が高められるような工夫がされている。
廣あかつき	巻頭に『自分を見つめよう(1年)/考えよう(2年)/のぼそう(3年)―道徳の時間とは―』、別冊『道徳ノート』に『心のしおり』といったコーナーが設けられ、学習の見通しと振り返りを行うことで、学習の意欲が高められるような工夫がされている。
日科	巻頭に『道徳科って、何を学ぶの?』『教科書の使い方』、巻末に『心の成長を振り返りましょう』『私の道徳記録(3年)』といったコーナーが設けられ、学習の見通しと振り返りを行うことで、学習の意欲が高められるような工夫がされている。

○学校教育法第46条との関連

第46条 ② 前項の場合においては、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。（※第30条第2項の準用）

東書	教材ごとに、「考えてみよう！」というコーナーが設けられ、考えるための中心となる問いや自己を見つめるための問い等が例として設定されている。
学図	教材ごとに、「学びに向かうために」というコーナーが設けられ、自らの考えを言葉で表現することができる発問例、記述欄等が設定されている。
教出	教材ごとに、「学びの道しるべ」というコーナーが設けられ、自らの考えを広げ、深めるための発問例が設定されている。
光村	教材ごとに、「学びのテーマ」というコーナーが設けられ、自らの考えを言葉で表現することができる発問例、記述欄が設定されている。
日文	教材ごとに、「考えてみよう」「自分にプラスワン」というコーナーが設けられ、自らの考えを言葉で表現することができる発問例、別冊『道徳ノート』に記述欄が設定されている。
学研	教材ごとに、問いが設けられ、自らの考えを深め、自己を見つめる等の発問例が設定されている。
廣あかつき	教材ごとに、「考える・話し合う」というコーナーが設けられ、自らの考えを言葉で表現することができる発問例、別冊ノートに記述欄が設定されている。
日科	教材ごとに、「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」というコーナーが設けられ、自らの考えを深めるための発問例が設定されている。

○学習指導要領の教科の目標との関連

道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

東書	教材ごとに「考えてみよう！」というコーナーが設けられ、生徒の多様な感じ方や考え方を引き出すよう工夫された発問例が設定されている。
学図	教材ごとに「学びに向かうために」というコーナーが設けられ、生徒の多様な感じ方や考え方を引き出すよう工夫された発問例が設定されている。
教出	教材ごとに「学びの道しるべ」というコーナーを設けられ、生徒の多様な感じ方や考え方を引き出すよう工夫された発問例が設定されている。
光村	教材ごとに「学びのテーマ」というコーナーが設けられ、生徒の多様な感じ方や考え方を引き出すよう工夫された発問例が設定されている。
日文	教材ごとに「考えてみよう」「自分にプラスワン」というコーナーが設けられ、生徒の多様な感じ方や考え方を引き出すよう工夫された発問例が設定されている。
学研	教材ごとに問いが設けられ、生徒の多様な感じ方や考え方を引き出すよう工夫された発問例が設定されている。
廣あかつき	教材ごとに「考える・話し合う」というコーナーが設けられ、生徒の多様な感じ方や考え方を引き出すよう工夫された発問例が設定されている。
日科	教材ごとに「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」というコーナーが設けられ、生徒の多様な感じ方や考え方を引き出すよう工夫された発問例が設定されている。

○学習指導要領の教育内容の主な改善事項との関連

言語活動の充実

東書	巻頭に「話し合いの手引き」が示され、巻末付録には、グループごとに話し合いを行う際に活用するため「ホワイトボード」が収録されている。また、感じたことや考えたことを書く「つぶやき」コーナーが教材ごとに設けられている。
学図	巻頭の「道徳の学習を始めよう！」のコーナーでは、話し合い等による授業の進め方の参考例が示されている。また、各教材で学習したことを振り返って書くことができる「学びの記録」のコーナーが設けられている。
教出	教材ごとに「学びの道しるべ」のコーナーが設けられ、「何をどのように考え、話し合っていくか」が示されている。巻末には、道徳の学びを記録できる「道徳の学びを記録しよう」が設けられている。
光村	巻頭の「対話で広がる、道徳の時間」のコーナーでは、「他者との対話」「自分との対話」例が示されている。また、教材ごとの「私の気づき」には自分の感じたことや考えたことを書くことができる欄が設けられている。
日文	巻頭の「道徳科での学び方」のコーナーでは、発表したり、議論したりすることが示されている。また、別冊「道徳ノート」は、各教材ごとに自分の考えや友達の意見や話し合いの内容を記述する欄が設けられている。
学研	巻頭の「道徳で学ぶこと・考えること」のコーナーでは、「話し合い、磨き合う」が示されている。また、巻末の「心の四季」のコーナーでは心の成長について記述する欄が設けられている。
廣あかつき	巻頭の「自分を見つめよう—道徳の時間とは—」のコーナーでは、「ともに考え、話し合う」ことについて示されている。また、別冊「道徳ノート」に各教材ごとに自分の考えを記述する欄が設けられている。
日科	巻頭の「道徳科って何を学ぶの？」のコーナーでは、話し合い等により多様な考えを知るための例が示されている。また、巻末には「私の道徳記録」のコーナーがあり、振り返りを記述する欄がある。

伝統や文化に関する教育の充実

東書	地域の伝統工芸や郷土の祭り等を通して、郷土の伝統や文化の尊重等について考える教材が取り上げられている。
学図	郷土に受け継がれた木工技術の伝統や雅楽等を通して、郷土の伝統や文化の尊重等について考える教材が取り上げられている。
教出	郷土料理や狂言師等を通して、郷土の伝統や文化の尊重等について考える教材が取り上げられている。
光村	伝統的な漆器の修理や日本建築の採光等を通して、郷土の伝統や文化の尊重等について考える教材が取り上げられている。
日文	郷土芸能や京都のしきたり等を通して、郷土の伝統や文化の尊重等について考える教材が取り上げられている。
学研	金閣寺の再建やねぶた祭等を通して、郷土の伝統や文化の尊重等について考える教材が取り上げられている。
廣あかつき	和太鼓や姫路城の大柱等を通して、郷土の伝統や文化の尊重等について考える教材が取り上げられている。
日科	宮大工や地域祭り等を通して、郷土の伝統や文化の尊重等について考える教材が取り上げられている。

体験活動の充実

東書	たばこを吸っている生徒を見かけて声をかける場面の役を交代して演じる等、体験的な学習で考えを深めるページが設けられている。
学図	部活動に不満を言う生徒とその生徒に意見を言う生徒の役を交代して演じる等、体験的な学習で考えを深める問いが設けられている。
教出	バスターミナルで困っている人に声をかける場面の役を交代して演じる等、体験的な学習で考えを深めるページが設けられている。
光村	体育祭間近の早朝練習に遅れてきた友達にどう対応するか等、体験的な学習で考えを深めるページが設けられている。
日文	あいさつの有無でずいぶん気分が変わるのはどうしてか等、体験的な学習で考えを深めるページが設けられている。
学研	通路でキャッチボールをしている子どもを注意する場面の役を交代して演じる等、体験的な学習で考えを深めるページが設けられている。
廣あかつき	探偵役になって話し合ってみるという場面の役を交代して演じる等、体験的な学習で考えを深めるページが設けられている。
日科	SNSが原因で起こった誤解を解消する場面はどう対応するか等、体験的な学習で考えを深めるページが設けられている。



## 2 かながわ教育ビジョンとの関連

[思いやる力] 他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。

(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、男女平等教育、道徳教育など)

東書	本当の思いやりとはどのようなことなのかを考えたり、末期がん患者の生き方を通して「生」と「死」について考えたりする等の教材が取り上げられている。
学図	高校生の行動から親切について考えたり、臓器提供を通して生命の在り方について考えたりする等の教材が取り上げられている。
教出	思いやりを表現できた場面、できなかった場面をもとに、気持ちを形にすることを考えたり、報道写真を題材に生命の尊厳を考えたりする等の教材が取り上げられている。
光村	相手のことを考えて行動するとはどのようなことかを考えたり、大切な人との別れを通して生命の有限性を考えたりする等の教材が取り上げられている。
日文	人の思いやりに気付くには何が大切かを考えたり、心の中で感じる生命の連続性について考えたりする等の教材が取り上げられている。
学研	「ありがとう。」の言葉に込められた思いを考えたり、虐待され捨てられた子犬を育てながら生命の尊厳について考えたりする等の教材が取り上げられている。
廣あかつき	地下鉄で席を譲った少女の心について考えたり、延命措置や在宅死についての様々な考え方を通して生命の尊厳について考えたりする等の教材が取り上げられている。
日科	体の不自由な人への手助けについて考えたり、ケガをした子を協力して助けることを通してかけがえのない生命について考えたりする等の教材が取り上げられている。

[たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。

(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力など)

東書	世界で活躍をする日本人の話から国際理解・国際貢献について考えたり、SNSでのいじめ問題から情報モラルを考えたりする等の教材が取り上げられている。
学図	平和と民主化のために海外で活動した日本人の話から国際理解・国際貢献について考えたり、ネットによる対人関係の問題から情報モラルを考えたりする等の教材が取り上げられている。
教出	生徒会選挙を題材として集団への自分の関わり方について考えたり、SNSのよさと怖さから情報モラルを考えたりする等の教材が取り上げられている。
光村	規則より心情を優先させたためのトラブルから規範意識について考えたり、ネット上での言動の問題から情報モラルを考えたりする等の教材が取り上げられている。
日文	身近なゴミ問題から公共の精神について考えたり、著作権の問題から情報モラルを考えたりする等の教材が取り上げられている。
学研	食べるために子ヤギを飼育する話から食育について考えたり、スマートフォン使用の問題から情報モラルを考えたりする等の教材が取り上げられている。
廣あかつき	社会に積極的に関わろうとする姿から公共の精神について考えたり、情報機器によるコミュニケーションの問題から情報モラルを考えたりする等の教材が取り上げられている。
日科	少年法から自己の責任について考えたり、ネットの対戦型ゲームに関する問題から情報モラルを考えたりする等の教材が取り上げられている。

[社会とかかわる力] 社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献できる力を育てる。

(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動など)

東書	雪かきを例とし、だれからも称賛をされないが大切な仕事があるということや、老人ホームでの体験からボランティア活動に参加をしようと考える生徒の姿から、社会参画や社会貢献の意義等について考える教材等が取り上げられている。
学図	息子の遺志を継いだ父によるボランティアの精神を世界に広める活動や、アルミ缶回収活動に疑問を感じていた主人公の姿から、社会参画や社会貢献の意義等について考える教材等が取り上げられている。
教出	生徒会役員選挙を通して代表を選ぶとはどういうことなのかを考える生徒の姿や、自ら望んで消防団に所属し活動している大人たちの姿から、社会参画や社会貢献の意義等について考える教材等が取り上げられている。
光村	紙芝居ボランティアを通して社会に積極的に関わろうとする中学生の姿や、避難所での電話番号をすることによって社会の一員として関わろうとする姿から、社会参画や社会貢献の意義等について考える教材等が取り上げられている。
日文	「日本の障害者福祉の父」と呼ばれた医師の活動や、富士山の清掃活動に取り組む登山家の姿から、社会参画や社会貢献の意義等について考える教材等が取り上げられている。
学研	生徒の話合いや有権者の意見を通して選挙について話し合う中学生の姿や、家族の代表として町内会の活動に参加する姿から、社会参画や社会貢献の意義等について考える教材等が取り上げられている。
廣あかつき	ボランティアとして一人暮らしのお年寄りを訪問する活動を始めた主人公の姿や、裁判員制度について主人公が感じた戸惑いや気付きから、社会参画や社会貢献の意義等について考える教材等が取り上げられている。
日科	ホームレスに声をかける夜回りのボランティア活動や、プラットホームでの見ず知らずの乗客同士が協力し人を救助した出来事から、社会参画や社会貢献の意義等について考える教材等が取り上げられている。

3 内容

		調査研究項目	学年	東書	学図	教出	光村	日文	学研	廣あかつき	日科
特別の教科 道徳に係る観点	1	自らの考えを深めたり、整理したりするために記入する箇所数 (考えよう、まとめよう、振り返ろう等)	1年	81	105	12	38	110	25	72	15
			2年	70	105	4	40	111	15	79	17
			3年	82	93	5	43	113	33	73	14
	2	言語活動の充実を図るための内容を取り上げている箇所数 (発表しよう、話し合ってみよう、書いてみよう、言葉のページ、名言の紹介等)	1年	12	61	14	37	44	19	33	21
			2年	13	62	16	37	45	13	41	13
			3年	13	62	16	37	46	16	35	10
	3	多面的・多角的な考え方ができる工夫がされている箇所数 (問いかけ、等)	1年	109	116	104	195	152	44	136	86
			2年	117	127	97	229	156	41	128	108
			3年	123	120	94	269	145	53	127	78
	4	問題解決的な学習を取り上げている箇所数	1年	40	35	35	36	35	35	35	37
			2年	40	35	35	36	35	35	35	37
			3年	40	35	35	36	35	35	35	37
	5	体験的活動を取り上げている箇所数	1年	2	2	3	3	2	1	1	1
			2年	2	1	2	2	2	1	2	1
			3年	2	2	2	1	2	1	0	2
内容項目	6	「自主、自律、自由と責任」に関する内容を取り上げている箇所数	1年	2	2	2	2	2	2	3	1
			2年	2	2	1	2	2	2	3	2
			3年	2	2	1	3	2	2	3	2
	7	「節度、節制」に関する内容を取り上げている箇所数	1年	2	2	2	2	1	2	1	1
			2年	2	2	2	2	1	2	1	1
			3年	2	2	1	1	2	2	1	1
	8	「向上心、個性の伸長」に関する内容を取り上げている箇所数	1年	1	1	1	1	1	1	1	2
			2年	1	1	1	2	1	1	1	2
			3年	1	1	1	2	1	1	1	1
	9	「希望と勇気、克己と強い意志」に関する内容を取り上げている箇所数	1年	1	1	2	2	2	2	2	1
			2年	1	1	2	2	2	1	2	1
			3年	1	1	1	2	1	1	2	2

		調査研究項目	学年	東書	学図	教出	光村	日文	学研	廣あかつき	日科	
内容項目	10	「真理の探究、創造」に関する内容を 取り上げている箇所数	1年	1	1	1	1	1	1	1	1	
			2年	1	1	1	1	1	2	1	1	
			3年	1	1	1	2	1	2	1	1	
	11	「思いやり、感謝」に関する内容を 取り上げている箇所数	1年	2	2	3	4	1	2	3	2	
			2年	2	2	3	2	1	2	3	1	
			3年	2	2	1	2	1	3	3	2	
	12	「礼儀」に関する内容を 取り上げている箇所数	1年	1	1	1	1	1	1	1	1	
			2年	1	1	1	1	1	1	1	1	
			3年	1	1	1	1	1	1	1	1	
	13	「友情、信頼」に関する内容を 取り上げている箇所数	1年	2	2	2	2	3	3	2	3	
			2年	2	2	2	3	3	2	2	3	
			3年	2	2	2	2	2	2	2	3	
	14	「相互理解、寛容」に関する内容を 取り上げている箇所数	1年	2	1	2	2	1	1	1	2	
			2年	2	1	1	2	1	2	1	3	
			3年	2	1	1	2	2	2	1	1	
	15	「遵法精神、公德心」に関する内容を 取り上げている箇所数	1年	2	2	1	2	2	2	2	2	3
			2年	2	2	2	2	2	2	2	2	2
			3年	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	16	「公正、公平、社会正義」に関する内容を 取り上げている箇所数	1年	2	2	1	2	2	2	2	2	3
			2年	2	2	2	2	2	1	2	2	2
			3年	2	2	2	2	2	1	2	2	2
	17	「社会参画、公共の精神」に関する内容を 取り上げている箇所数	1年	2	2	1	1	2	1	1	3	
			2年	2	2	3	2	2	2	1	2	
			3年	2	2	3	2	3	1	1	2	
	18	「勤労」に関する内容を 取り上げている箇所数	1年	2	2	1	1	2	1	1	1	
			2年	2	2	1	1	2	1	1	2	
			3年	2	2	1	1	1	1	1	1	
19	「家族愛、家庭生活の充実」に関する内容を 取り上げている箇所数	1年	1	1	1	1	1	1	2	2		
		2年	1	1	1	1	1	1	2	1		
		3年	1	1	1	1	1	1	2	2		

		調査研究項目	学年	東書	学図	教出	光村	日文	学研	廣あかつき	日科		
内容項目	20	「よりよい学校生活、集団生活の充実」に関する内容を取り上げている箇所数	1年	1	1	1	2	1	2	1	1		
			2年	1	1	1	1	1	2	1	1		
			3年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	21	「郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」に関する内容を取り上げている箇所数	1年	2	2	4	1	2	1	1	2		
			2年	1	2	2	1	1	1	1	2		
			3年	1	2	2	1	1	1	1	1		
	22	「我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度」に関する内容を取り上げている箇所数	1年	1	2	1	1	1	1	1	1		
			2年	2	2	1	1	2	1	1	2		
			3年	1	2	2	1	2	1	1	2		
	23	「国際理解、国際貢献」に関する内容を取り上げている箇所数	1年	1	2	1	1	2	2	1	1		
			2年	1	2	3	1	2	1	1	1		
			3年	2	2	2	1	2	3	1	2		
	24	「生命の尊さ」に関する内容を取り上げている箇所数	1年	3	2	3	3	3	3	3	3	2	
			2年	3	2	2	3	3	3	3	3	2	
			3年	3	2	3	3	3	3	3	3	3	
	25	「自然愛護」に関する内容を取り上げている箇所数	1年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			2年	1	1	1	1	1	2	1	1	1	
			3年	1	1	2	1	1	1	1	1	1	
	26	「感動、畏敬の念」に関する内容を取り上げている箇所数	1年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			2年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			3年	1	1	2	1	1	1	1	1	1	
	27	「よりよく生きる喜び」に関する内容を取り上げている箇所数	1年	2	2	2	2	2	2	2	3	2	
			2年	2	2	1	2	2	2	2	3	3	
			3年	2	2	2	3	2	2	2	3	3	
	導 多様な教材を生かした指	28	伝記を用いている数	1年	0	1	1	1	1	1	1	1	2
				2年	3	5	4	0	1	1	2	4	
				3年	1	5	2	2	5	3	3	4	
29		実話を用いている数	1年	11	8	15	8	13	14	5	10		
			2年	10	9	16	13	12	17	11	7		
			3年	9	11	14	9	8	12	9	10		

		調査研究項目	学年	東書	学図	教出	光村	日文	学研	廣あかつき	日科
多様な教材を生かした指導	30	意見文を用いている数	1年	4	2	5	4	3	1	4	3
			2年	7	1	5	3	2	1	6	3
			3年	10	2	3	6	4	7	5	7
	31	物語を用いている数	1年	20	23	12	19	14	19	24	20
			2年	14	18	9	17	19	13	16	22
			3年	15	16	14	17	17	11	16	15
	32	詩を用いている数	1年	2	0	1	7	3	1	5	3
			2年	2	0	1	7	1	2	1	3
			3年	2	0	1	6	2	4	5	2
	33	マンガを用いている数	1年	1	1	1	1	1	0	0	0
			2年	1	1	0	1	0	2	0	0
			3年	1	1	0	1	0	1	0	0
34	コラムを用いている数	1年	0	22	0	7	13	26	6	11	
		2年	0	22	0	7	15	22	6	13	
		3年	0	22	0	7	13	20	6	7	
各教科等との 関連をもたせ た学習の指導	35	他教科との関連を取り上げている箇所数	1年	23	16	21	13	30	28	16	18
			2年	24	20	18	14	26	22	18	23
			3年	22	18	13	16	27	32	18	22
情報モラル	36	情報モラルについて取り上げている箇所数（情報社会の倫理、法の理解と遵守）	1年	1	1	2	2	2	4	3	2
			2年	1	1	2	2	3	2	3	2
			3年	3	3	1	1	2	4	2	1
現代的な課題	37	食育について取り上げている箇所数	1年	1	1	1	3	2	2	1	2
			2年	2	3	1	1	1	2	2	0
			3年	1	1	1	1	3	3	1	1
	38	健康教育について取り上げている箇所数	1年	1	2	1	2	1	1	1	2
			2年	0	2	0	1	1	1	2	1
			3年	2	5	0	2	1	0	1	0
	39	消費者教育について取り上げている箇所数	1年	2	0	0	0	1	1	0	0
			2年	1	0	2	0	3	1	2	1
			3年	3	1	1	1	0	0	0	0

		調査研究項目	学年	東書	学図	教出	光村	日文	学研	廣あかつき	日科
現代的な課題	40	防災教育について取り上げている箇所数	1年	1	1	2	1	2	1	1	1
			2年	3	1	3	1	2	3	1	1
			3年	3	1	2	1	3	2	1	1
	41	福祉に関する教育について取り上げている箇所数	1年	8	5	7	5	4	6	8	6
			2年	10	4	8	5	8	5	5	8
			3年	5	5	9	6	10	9	6	5
	42	法教育について取り上げている箇所数	1年	4	4	2	6	6	4	5	5
			2年	6	4	2	6	4	3	5	4
			3年	3	5	5	5	3	3	4	3
	43	社会参画に関する教育について取り上げている箇所数	1年	13	13	12	10	10	12	8	11
			2年	11	10	12	8	10	16	10	17
			3年	9	15	12	12	13	15	9	11
	44	伝統文化教育について取り上げている箇所数	1年	4	4	6	2	3	2	2	3
			2年	4	4	4	2	4	2	3	4
			3年	3	4	5	2	4	2	3	3
	45	国際理解教育について取り上げている箇所数	1年	4	3	3	4	3	4	5	2
			2年	2	5	4	5	5	2	4	5
			3年	6	2	6	4	6	3	5	3
	46	キャリア教育について取り上げている箇所数	1年	11	7	1	5	6	7	2	2
			2年	8	7	1	6	8	10	7	4
			3年	5	6	1	11	7	7	3	2
	47	持続可能な発展について取り上げている箇所数（環境、貧困、人権、平和、開発等）	1年	3	6	5	3	6	3	4	3
			2年	3	5	4	3	8	6	3	5
			3年	4	6	4	3	5	7	3	3
いじめ	いじめについて直接取り上げている箇所数	1年	3	1	4	2	6	3	3	2	
		2年	3	1	2	2	5	1	3	0	
		3年	3	1	2	2	1	4	3	1	
と家庭の連携や地域	49	家庭や地域社会に関する内容を取り上げている箇所数	1年	11	14	17	13	15	13	16	16
			2年	15	12	15	16	18	11	13	13
			3年	9	14	10	9	14	12	11	11

		調査研究項目	学年	東書	学図	教出	光村	日文	学研	廣あかつき	日科
家庭や地域との連携	50	家庭での学習活動を取り上げている箇所数	1年	2	3	3	3	2	3	5	7
			2年	3	3	1	3	2	4	3	3
			3年	3	4	1	3	5	5	6	3
	51	地域での学習活動を取り上げている箇所数	1年	6	10	8	6	13	9	7	9
			2年	6	9	10	13	12	7	6	12
			3年	7	12	6	6	7	5	6	11
	52	神奈川に関連することを取り上げている箇所数	1年	0	0	1	4	0	0	0	1
			2年	0	2	2	2	1	4	0	1
			3年	1	0	1	0	1	0	1	0
す道徳科に生かす	53	オリンピックやパラリンピックに関連することを取り上げている箇所数	1年	3	2	4	1	1	5	1	2
			2年	3	3	2	1	3	3	2	3
			3年	1	2	1	3	3	4	1	1

#### 4 構成・分量・装丁

		調査研究項目	学年	東書	学図	教出	光村	日文	学研	廣あかつき	日科
1	総ページ数	1年	190	228	202	232	200	184	186	196	
		2年	198	232	186	232	200	188	170	196	
		3年	198	228	186	240	200	188	166	196	
		総数	586	688	574	704	600	560	522	588	
2	「自主、自律、自由と責任」のページ数 ( )は別冊	1年	13	12	10	10	14(2)	8	12(3)	5	
		2年	10	12	4	9	10(2)	12	9(3)	8	
		3年	11	12	6	13	7(2)	10	13(3)	10	
3	「節度、節制」のページ数 ( )は別冊	1年	8	10	10	10	6(1)	8	4(2)	3	
		2年	8	10	8	12	6(1)	8	2(2)	6	
		3年	8	12	2	5	6(2)	8	5(2)	5	
4	「向上心、個性の伸長」のページ数 ( )は別冊	1年	4	6	4	8	4(1)	4	4(2)	10	
		2年	4	6	6	9	6(1)	6	6(2)	7	
		3年	5	6	2	8	6(1)	4	6(2)	5	
5	「希望と勇気、克己と強い意志」のページ数 ( )は別冊	1年	4	8	11	10	9(2)	10	12(2)	4	
		2年	4	6	9	12	8(2)	6	12(2)	4	
		3年	6	8	6	11	6(1)	6	9(2)	12	
6	「真理の探究、創造」のページ数 ( )は別冊	1年	4	4	6	5	6(1)	6	6(2)	6	
		2年	4	8	4	5	4(1)	10	5(2)	6	
		3年	6	6	4	12	6(1)	10	3(2)	5	
7	「思いやり、感謝」のページ数 ( )は別冊	1年	11	10	12	20	4(1)	8	16(3)	6	
		2年	8	10	13	14	6(1)	11	11(2)	3	
		3年	9	8	4	10	4(1)	12	10(3)	10	
8	「礼儀」のページ数 ( )は別冊	1年	3	4	6	5	6(1)	4	3(2)	3	
		2年	4	6	4	5	4(1)	4	3(2)	5	
		3年	4	4	4	4	6(1)	4	2(2)	2	
9	「友情、信頼」のページ数 ( )は別冊	1年	8	12	8	14	18(3)	16	11(2)	19	
		2年	9	12	10	16	16(3)	8	11(2)	16	
		3年	8	14	14	10	12(2)	10	9(2)	16	
10	「相互理解、寛容」のページ数 ( )は別冊	1年	7	6	12	13	6(1)	4	5(2)	7	
		2年	10	6	6	9	6(1)	8	7(3)	15	
		3年	11	6	6	15	10(2)	12	5(2)	5	
11	「遵法精神、公德心」のページ数 ( )は別冊	1年	6	8	4	10	10(2)	10	8(3)	10	
		2年	9	14	6	12	8(2)	8	9(2)	12	
		3年	11	10	10	17	14(2)	10	9(2)	8	
12	「公正、公平、社会正義」のページ数 ( )は別冊	1年	9	14	4	11	10(2)	8	10(2)	18	
		2年	10	10	10	11	12(2)	6	5(2)	6	
		3年	11	10	9	15	14(2)	6	11(2)	8	
13	「社会参画、公共の精神」のページ数 ( )は別冊	1年	8	12	4	8	10(2)	6	6(2)	16	
		2年	8	12	16	11	10(2)	10	4(2)	10	
		3年	8	10	17	13	12(3)	4	6(3)	9	

	調査研究項目	学年	東書	学図	教出	光村	日文	学研	廣あかつき	日科
14	「勤労」のページ数 ( )は別冊	1年	9	14	6	5	8(2)	6	4(2)	5
		2年	13	12	6	5	8(2)	4	5(3)	11
		3年	8	14	4	5	8(1)	4	2(2)	5
15	「家族愛、家庭生活の充実」のページ数 ( )は別冊	1年	4	8	8	5	3(1)	4	10(2)	11
		2年	4	4	4	5	6(1)	6	10(2)	5
		3年	6	8	6	7	6(1)	8	10(2)	11
16	「よりよい学校生活、集団生活の充実」のページ数 ( )は別冊	1年	6	6	6	11	4(1)	10	5(2)	5
		2年	4	6	6	5	4(1)	10	5(2)	4
		3年	4	8	6	5	4(1)	4	4(2)	5
17	「郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」のページ数 ( )は別冊	1年	7	14	19	5	9(2)	4	6(2)	7
		2年	5	14	8	7	3(1)	6	5(2)	10
		3年	4	12	14	7	6(1)	6	5(2)	4
18	「我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度」のページ数 ( )は別冊	1年	5	12	6	5	6(1)	4	3(2)	5
		2年	8	10	6	5	10(2)	6	4(2)	10
		3年	4	12	6	5	9(2)	4	6(2)	8
19	「国際理解、国際貢献」のページ数 ( )は別冊	1年	6	12	6	7	10(2)	13	5(2)	8
		2年	8	16	22	8	9(2)	6	5(2)	5
		3年	12	16	12	8	8(2)	16	5(2)	11
20	「生命の尊さ」のページ数 ( )は別冊	1年	15	10	16	16	13(3)	14	11(2)	8
		2年	18	16	10	15	14(3)	18	18(2)	12
		3年	15	12	10	10	15(3)	12	8(2)	14
21	「自然愛護」のページ数 ( )は別冊	1年	4	6	6	8	6(1)	6	6(2)	8
		2年	5	4	4	8	8(1)	8	4(2)	6
		3年	5	6	8	7	4(1)	4	4(2)	4
22	「感動、畏敬の念」のページ数 ( )は別冊	1年	6	8	7	6	4(1)	4	5(2)	3
		2年	6	6	3	6	6(1)	4	2(2)	5
		3年	5	4	4	6	6(1)	6	3(2)	6
23	「よりよく生きる喜び」のページ数 ( )は別冊	1年	13	12	14	10	8(2)	12	18(2)	9
		2年	11	12	4	8	10(2)	8	12(2)	13
		3年	9	10	10	13	8(2)	12	15(2)	14
24	判型等	判型	AB	AB	B5	B5	B5	A4	AB	B5
25	「写真」・「挿絵」の数	1年	151	187	131	204	291	229	118	107
		2年	185	190	99	190	289	221	137	107
		3年	168	171	97	168	303	181	126	124
26	「マーク」の種類	共通	13	23	7	5	13	9	14	12
27	章(単元)のインデックスの有無	もくじ	有り	有り	有り	有り	有り	有り	有り	有り
		さくいん	有り	有り	有り	有り	有り	有り	有り	有り
		タグ	有り	有り	有り	有り	有り	有り	有り	有り



## 5 表記・表現

	調査研究項目	東書	学図	教出	光村	日文	学研	廣あかつき	日科
1	文章表現や漢字・かなづかい・用語・記号・計量単位・図版などの使用	適	適	適	適	適	適	適	適
2	文字の大きさ・字間・行間・書体など	適	適	適	適	適	適	適	適
3	文章・図版などの割付け	適	適	適	適	適	適	適	適